

第3学年3組 音楽科学習指導案

【日時】令和3年7月21日(水) 8:45～9:30 【場所】音楽室 【指導者】向井 千晶

本授業の主張点

曲中の反復した旋律をどのように演奏するかを工夫することで、反復や変化を楽しむ活動を行います。本時の終末では、既習曲と結びつけその反復や変化に気付くよう促し、児童の音楽観の拡大へとつなげていきます。

1 題材名 くりかえしを楽しもう

教材曲「ゆかいな木きん」「春の小川」「山のポルカ」「歌えバンバン」

2 題材の構想

(1) 題材について

本題材は、互いの音を聴き合いながら演奏することや、反復や変化を用いてまとまりのあるリズムをつくることを通して、拍の流れやリズムに対する感覚、演奏表現に必要な基礎的な能力を養うことをねらいとしている。そこで軽快な2拍子の「ゆかいな木きん」や、既習曲「春の小川」「山のポルカ」「歌えバンバン」などを扱う。「ゆかいな木きん」は主旋律が8分音符の軽快なリズムで構成されているとともに、似た音型の反復でできていることから、拍にのって楽しく歌ったり演奏したりしやすい。また、無理なく合奏や歌唱に取り組むことができる曲である。既習曲の反復や変化と関連付けながらそれらの仕組みを楽しみ、リズムづくりへとつなげていく。自分のリズムと友達のリズムをつなげて一つのリズムにしたり、模倣したりすることで、拍に対する感覚を一層伸ばしながら、協働して表現する楽しさを味わうことができる構成とする。

(2) 児童について

本学級は、歌ったり楽器を演奏したりする学習に意欲的に取り組む児童が多い。5月に行った意識調査によると、友達と一緒に歌ったり、演奏したりすることを楽しんでいる児童が35名中28名である。また、児童はこれまで、帯活動として拍にのってポーズを決める遊びや、友達のリズムを模倣して打つリズム遊びに多く取り組んでいる。このように遊びの中で楽しみながら培ってきたリズム感覚を、協働的な音楽活動を通してより一層伸ばしながら、音楽の仕組みについて知り、音楽のよさや面白さに注目できるようにしたい。

(3) 指導について

第一次では拍の流れにのって班や学級全体で一体感のある演奏をすることを目指し、学習を展開する。拍の流れにのって演奏することや、自分のパートの役割を知り、互いの音を聴き合いながら演奏する大切さに気付く経験をすることで今後の表現活動へつなげていきたい。本時では、“あっちいってこんこん”“こちこちきてこんこん”の反復した旋律をどのように演奏するか、強弱やパート分けなどの演奏の工夫を考える活動を設定し、反復や変化によるよさや面白さを味わいながら合奏に取り組むようにする。さらに既習曲を反復や変化の視点で振り返ることで、今後出合う曲についても、児童が反復や変化についての気付きを持てるようにしたい。第二次では、反復と変化が生み出すまとまりのあるリズムについて知り、それらを生かしたリズムをつくる活動を行う。そして、友達とつなげたり模倣したりすることで、拍の流れに対する感覚を育てていく。また友達がつくった様々なリズムを聴き合ったり、模倣して演奏したりすることで、リズムの違いの面白さや表現の多様性を感じ取らせたい。

3 題材の目標

- (1) 拍子やリズムの特徴などと曲想との関わりに気付き、拍にのって表現する技能や、反復や変化を用いてまとまりのあるリズムをつくる技能を身に付ける。 【知・技】
- (2) 拍子やリズム、旋律の特徴を捉え、そのよさや面白さを味わって聴いたり、どのように表現するか、どのようにまとまりを意識したリズムをつくるかについて思いや意図をもったりする。 【思・判・表】
- (3) 拍子やリズムの特徴が生み出すよさや面白さを感じ取って聴いたり、それらを生かして表現したり、友達と協働してまとまりのあるリズムをつくったりする学習に進んで取り組む。 【主】

4 題材計画 (全6時間)

第一次 (1～4時) …「ゆかいな木きん」を演奏する。

第二次 (5, 6時) …まとまりのあるリズムをつくる。

5 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 拍子やリズム、旋律の特徴と曲想との関わりに気付いている。 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音を聴いて友達と音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 リズムのつなげ方の特徴に気付き、反復や変化を生かしてまとまりのあるリズムをつくる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 反復や変化が生み出すよさや面白さを感じ取り、聴き取ったことと感じ取ったことに関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 4分音符と8分音符のリズムの組み合わせを工夫し、どのように反復と変化を生かしたまとまりのあるリズムをつくるかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 拍子やリズム、旋律と曲想との関わりに興味関心を持ち、互いの音を聴き合って演奏する学習や音楽づくりの学習に進んで取り組もうとしている。

5 本時の指導（3／6）

(1) 指導目標

反復や変化が生み出すよさや面白さを感じ取り、どのように演奏するかについて思いや意図をもつことができるようにする。

(2) 本時の評価規準

反復や変化が生み出すよさや面白さを感じ取り、聴き取ったことと感じ取ったことに関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思考・判断・表現】

(3) 本時の展開

学習活動と児童の発言や反応（□□□□□）	教師の意図や働きかけ、形成的評価（◆）
1 本時の活動を知る。 (5分)	1 曲想と音楽の仕組みとを関連づけ、本時の活動を確認する。
演奏の仕方を工夫してくり返しを楽しもう	
2 演奏の仕方を工夫する。 (10分) (1) 個人で考える。 (2) 話し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> くり返しだけど、大きさを変えて楽しくしたいな。 1回目と2回目と人数を変えよう。 あっちに行く感じとこっちに行く感じにしたいな。鍵盤ハーモニカと木琴で分かれるのはどうかな。 </div>	2-(1) どのように演奏するかについて、「もっと楽しい演奏にするため」という視点を与える。 2-(2) 演奏の工夫やその理由を問い、思いや意図について価値付ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 (ワークシート・発言)【思・判・表】</p> <p>B どのように演奏するかについて思いや意図をもち、強弱や音色などの演奏の仕方を工夫している。</p> <p>C 演奏の仕方の工夫が思いつかない。または思いや意図と演奏の工夫が結びつかない。 →友達の意見を聞くよう促し、やってみたい演奏の工夫を問う。</p> </div>
3 工夫を共有し、合奏する。 (15分) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 息を合わせて鳴らそう。 鍵盤ハーモニカと木琴で分かれよう。 もっとはねている感じで演奏したいな。 近いところと遠いところで鳴らしているみたいだね。 やってみたらおもしろいな。 〇〇さんは私と同じ工夫の仕方だ。 (拍にのって演奏を楽しむ姿) </div>	3-(1) 演奏の工夫を全体で共有し、合奏してどのように感じたかを問う。 3-(2) 互いの音を聴き合いながら、拍にのって演奏している姿を称賛する。
4 身近な音楽の反復や変化を見つける。 (10分) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 全部にくり返しがあるよ。 リズムは同じだけど、音の高さが違うね。 歌えバンバンにはくり返しはないんじゃない？ いや、この部分だけ小さいくり返しがあるよ。 もう一回でてきているよ。 </div>	3-(3) 思いや意図を明確にするために、自分のお気に入りの演奏の工夫を選ぶよう促す。 4-(1) 既習曲や児童が提案した曲について、旋律に着目できるように主な旋律をピアノで演奏したり、旋律のリズムを一緒に手拍子したりする。
5 本時を振り返る。 (5分) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 音の大きさを変えて繰り返すのが面白かったです。 今までに習った曲にもこんなくり返しがあると思いませんでした。 くり返しがあるのは同じでも、演奏の仕方がちがう感じになるとわかりました。 </div>	4-(2) 反復や変化という特徴と曲想との結びつきについて板書で整理する。 5 リズムが反復している部分を強弱や楽器の音色で変化させることで、どのように感じたかを問う。